

大阪大学における地域連携の取組について



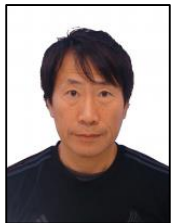
大阪大学 吹田キャンパス

大阪大学の地域連携方針

大阪大学は、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、学術、文化、芸術、医療の拠点として、地域社会やグローバル社会が抱える諸課題の解決や社会の心豊かな発展につながる貢献を目指しています。本学は、様々な地方自治体と包括連携協定を締結するなど、地域社会との連携体制を構築しており、今後も大阪大学共創機構がハブとなり地方自治体、企業、市民等と協働することによって、地域社会における課題の解決、新たな社会価値の創出に取り組んでいきます。

PICK UP

大学の研究者



■ 主な研究内容

高齢者の運動、
高齢者の健康寿命の延伸に関する研究

全学教育推進機構
藤田 和樹 教授

※研究者の経歴等は
(URL: <https://rd.iai.osaka-u.ac.jp/ja/df616afb62c345a1.html>)をご参照下さい。

デジタル技術の活用
(データ分析)



地域連携事例集にも
掲載されています。

地域課題解決に向けた活用例

■ 活用分野

健康・医療

■ 活用例

- 市民の運動機能(バランス)測定
- 健康セミナーの実施
- 運動機能維持のための自治体サービス介入

大阪大学における地域連携の取組について

PICK UP

大学の研究者



■ 主な研究内容

ものづくり技術(機械・電気電子・
化学工学)
電気電子材料工学

産業科学研究所
荒木 徹平 准教授

※研究者の経歴等は(URL:
<https://rd.iai.osaka-u.ac.jp/ja/2d72e7728c9301e4.html>)
をご参照下さい。

デジタル技術の活用
(装置・デバイス)



地域連携事例集にも
掲載されています。

地域課題解決に向けた活用例

■ 活用分野

防災・防犯、都市整備、
健康・医療

■ 活用例

- センサシステムを活用したインフラ維持管理
- 生体計測用シート型センサを用いた健康状態の把握

PICK UP

大学の研究者



■ 主な研究内容

病態検査学
感染症内科学
バイオインフォマティクス

微生物病研究所
元岡 大祐 講師

※研究者の経歴等は(URL:
<https://rd.iai.osaka-u.ac.jp/ja/82790e8fac6bc797.html>)
をご参照下さい。

デジタル技術の活用
(データ分析)



地域連携事例集にも
掲載されています。

地域課題解決に向けた活用例

■ 活用分野

健康・医療

■ 活用例

- 保育園における感染症モニタリング
- 網羅的な感染症流行検知システムの構築

大阪大学における地域連携の取組について

PICK UP

大学の研究者



■ 主な研究内容

交通工学
交通計画

工学研究科
葉 健人 助教

※研究者の経歴等は(URL:
<https://rd.iai.osaka-u.ac.jp/ja/21a600a6e586effe.html>)
をご参照下さい。

デジタル技術の活用
(AI)



地域連携事例集にも
掲載されています。

地域課題解決に向けた活用例

■ 活用分野

交通、健康・医療

■ 活用例

地域共創型の公共交通の実践

地域との連携形態について

地域との連携形態

大阪大学は、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、学術、文化、芸術、医療の拠点として、地域社会やグローバル社会が抱える諸課題の解決や社会の心豊かな発展につながる貢献を目指しています。

本学は、様々な地方自治体と包括連携協定を締結するなど、地域社会との連携体制を構築しており、今後も大阪大学共創機構がハブとなり地方自治体、企業、市民等と協働することによって、地域社会における課題の解決、新たな社会価値の創出に取り組んでいきます。

OUエコシステム 多様なステークホルダーと連携し、社会課題を組織的に収集し研究活動を実践、その研究成果を社会に実装していく中で明らかになる新たな問題点や研究課題を分析して研究の現場にフィードバックし、そこで得られた研究成果を再び社会に実装していく、「OUエコシステム」の構築に取り組んでいます。



地域との連携形態について

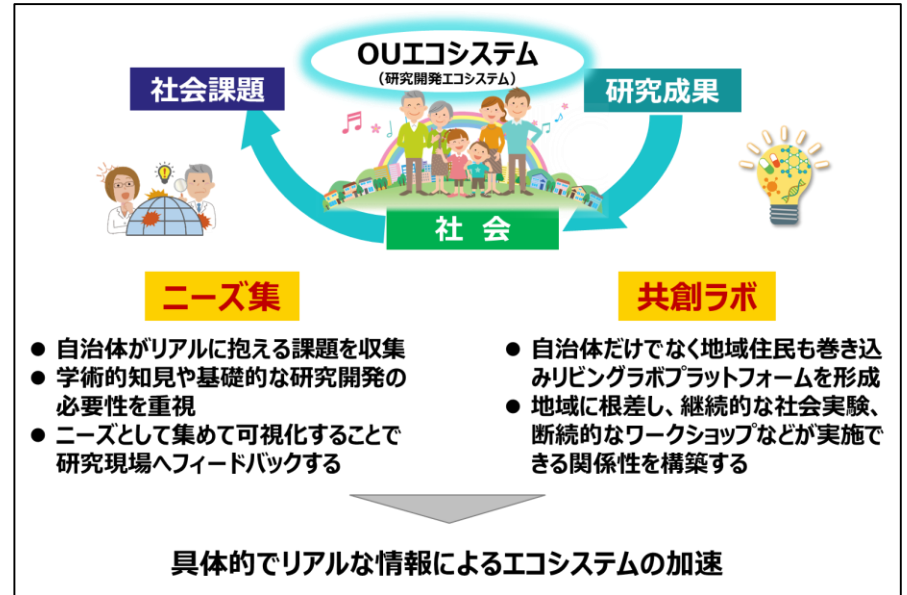
自治体ニーズ集

自治体と共創機構とで社会課題のディスカッションを行うことで、ニーズ情報を言語化して収集します。そのニーズ集を大阪大学の研究者と共有することで、新たな研究の気づきを生み出し、共同研究・受託研究・学術相談などの共創活動を促進します。最終的には、学術的なバックグラウンドをベースとして、企業などの他のステークホルダーを巻き込んだ共創活動の発展を目指します。

大阪大学共創ラボ

大阪大学共創ラボとは、自治体と大阪大学の関係に留まらず、地域住民団体、企業やNPOなど様々なステークホルダーを巻き込み、地域の社会課題の探索・抽出から課題を解決する新しい価値の創造・検証までを共に行うプラットフォームです。

参加者間で課題の背景や課題へかける想いなどの暗黙知、解決に向けたビジョンやプロセスを共有するために定期的な会合を設け、具体的な実施プラン(プロジェクト)を連続的に立ち上げ実行していきます。



地域との連携実績について

地域との連携実績

大阪大学は、1府9市1町(大阪府、大阪市、吹田市、豊中市、箕面市、茨木市、池田市、堺市、摂津市、尼崎市、能勢町)と包括協定を締結しています。また、泉大津市と共創機構で連携協定を締結しています。それぞれの地域における課題やニーズの把握ならびに新たな社会価値の創造に向けて、社会課題の解決に結びつく取り組みを創出しています。

連絡先

大阪大学 共創機構

TEL: 06-6879-4875

Mail: local-collab@uic.osaka-u.ac.jp